

2016年(平成28年)3月1日(火曜日)



金庭宜雄団長(右から3人目)から提言書を受け取る河村たかし市長(市役所で

子どもの貧困対策

公明市議団が提言

市長「参考にする」

名古屋市議会の公明党市議団は二十九日、河村たかし市長に、ひとり親家庭への支援に最優先で取り組むことなどを求める「子どもの貧困対策」を提言した。

市議団が昨年四月か

ら調査研究を重ねた成果を、提言書「チャイルドハピネス計画」としてまとめた。学校や保育所、地域などが積極的に困窮している子どもを見つける一方で、実際に子どもや保護者を支援する新たな組織をつくるよう提案した。

ひとり親家庭への支援を緊急的、重点的な課題と指摘。民間賃貸住宅の家賃助成や市営交通の無料パスの交付などの制度創設を求めた。提言を受けた市長は「最優先の政策課題だと思っており、提言は大変貴重。参考にする」と述べた。